



穴掘り機

取扱説明書

HG-DZ50

HG-DZ50S



ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。
※本説明書はHG-DZ50の画像を使用して作成しています。

このたびは穴掘り機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の    の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。



誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

おねがい	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
各部の名称と取扱	5
ドリル刃の取付け方	8
ロックレバー(HG-DZ50S)	9
運転前の点検	10
運転操作のしかた	11
穴掘り作業の操作要領	12
保管の方法	13
故障と思ったら	14
主要諸元	15
お客様ご相談窓口	16

⚠ 警告

●作業を始める前に

- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・視界が良くないときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- ・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。
もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取って下さい。
- ・排気ガスには十分に注意してください。
- ・ドリルビットは確実に取り付けられているか、先端工具に異常がないか確認してください。

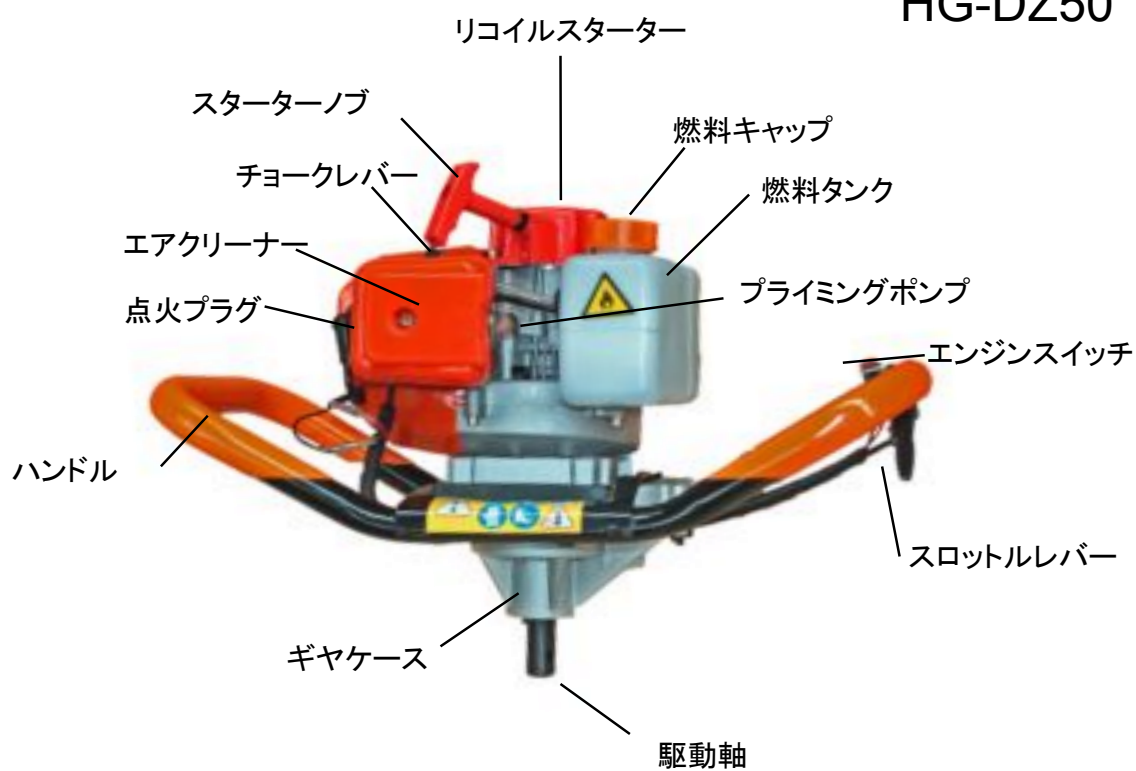
●作業中の注意

- ・回転しているドリルビットに手又は足を絶対に触れないでください。
- ・穴をあける場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
- ・木の根や岩のあるところでは作業はしないでください。
- ・ドリルビットが異物に突き当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、ドリルビットに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ穴掘り機を再始動しないでください。
- ・左右のハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。
- ・動作中の機体から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを停止してください。
- ・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。

⚠ 注意

- ・燃料は混合ガソリンを使用してください。
- ・穴掘り機を保管、運搬するときは、先端工具を外すかカバーをかけてください。
- ・用途に合ったドリルビットをご使用ください。 地面用、氷用、穴あけ直径など。

HG-DZ50



HG-DZ50S



●ギヤケース

ギヤケースへのオイルの補充は必要ありません。

ギヤケース



●キャブレター(気化器)

気化器の調整は、工場出荷時に最適に調整してあります。

気候、作業負荷により、アイドル回転が高すぎ、ドリルビットが回っているときはアイドル調整ネジを調整してください。

ネジを右に回すとアイドル回転が高くなり、左に回すとアイドル回転が低くなります。

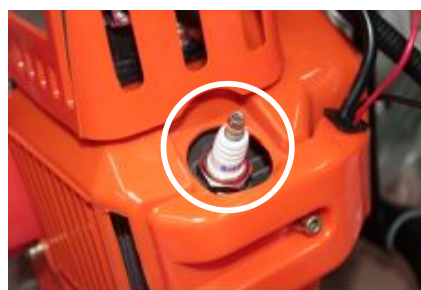


●点火プラグ

- 1.点火プラグキャップを取り外します。
- 2.点火プラグを取り外します。
- 3.点火プラグをワイヤブラシで清掃します。
- 4.隙間は0.7mm～0.8mmが適切です。

キャップを外すと点火プラグが見えます。
付属のプラグレンチを使って外します。

点火プラグ品名 JL BM6A

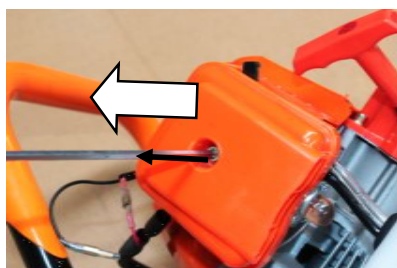


●エアークリーナー

エレメントが目詰まりした状態になると、出力低下、始動困難になります。
時々掃除をしてください。

エレメントの外し方

- 1.六角ボルトを緩め、ケースを取り外します



- 2.黒い蓋を取り外します

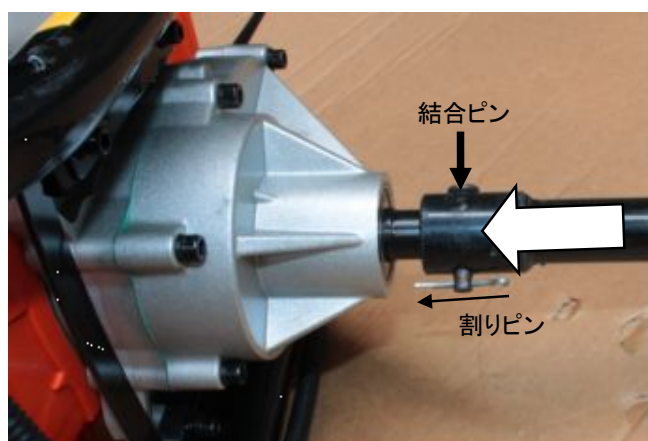


- 3.エレメントを取り出します。
- 4.エレメントをガソリンで洗浄後、固く絞り、乾燥させてから、取り付けます。



●ドリル刃の取り付け

- 1.ドリルを駆動軸に差し込みます。
- 2.駆動軸の穴とドリル側の穴を合わせ、結合ピンを差し込みます。
- 3.結合ピンが抜けないように、割りピンを通します。



●レバーの取付け方



レバーをギヤケース横に上の図のように取付けます。
ボルトはしっかりと締めてください。

●機能



固い土や石にドリルが当たったときに、レバーが体に干渉してドリルの回転を止めます。
これにより体がエンジンの力で振られてしまうことを防ぎます。
レバーは手で引くことで戻ります。

●燃料の点検

燃料(潤滑油混合ガソリン)の量を点検します。

- ・燃料タンクの液面を見て残量を確認します。
- ・少ないときは上限の位置まで補給してください。

使用燃料 潤滑油混合ガソリン 25:1

補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

●ドリルの割れ、曲がりの点検

ドリルの切り刃を点検し、ダメージ、割れ、曲げなどが無いことを点検します。

●ネジの緩みの点検

各部のネジの緩みを点検してください。

●エアクリーナーの点検

エアクリーナーのエLEMENTの汚れを点検します。
目詰まりした状態になると、出力低下、始動困難になります。

⚠ 警告

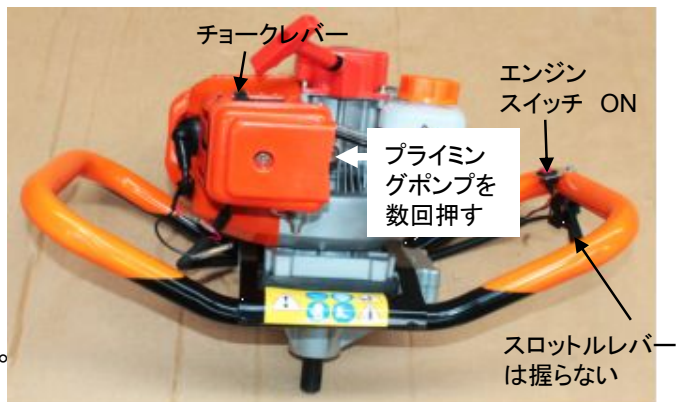
- ・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
- ・換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・静電気を除去してから給油してください。
- ・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
- ・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

⚠ 注意

- ・燃料は作業に必要な量を都度準備してください。
- ・レギュラーガソリンだけで運転をしないでください。誤った混合比の燃料を使用するとエンジンの故障の原因になります。

●エンジンのかけかた

1. エンジンスイッチをONにします。
2. プライミングポンプを数回押してください。
3. チョークレバーを「OFF表示」にします。



4. ハンドルをしっかりと押さえて、片手でリコイルスターターノブを数回強く引いてください。
 まずノブを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ノブを一度戻してから勢いよく引くとエンジンがかかります。

ノブは、リコイルスターターの紐が出口に出来るだけあたらないように、まっすぐに引いてください。

5. エンジンが起動し運転状況を確認します。
 異常がなければ、チョークを「ON表示」にします。
6. 数回繰り返してもかからない場合は、チョークを「ON表示」の位置にし再度リコイルを引いてください。

⚠ 注意

- ・エンジン始動と同時にドリルが回転する場合がありますので、注意してください。
- ・紐を引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
- ・運転中はリコイルスターターを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

●エンジンのとめかた

1. スロットルレバーを離して低速回転にします。
2. エンジンスイッチをOFFにしてください。

1. エンジンをかけた後、しっかりハンドルを握り、下向きに押さえながら、穴掘りを始めます。
2. ドリルが10cm前後地面に入った後、ハンドルを強く押して、掘り下げます。
3. 深掘時は、時々ドリルを引き上げ、廃土しながら徐々に掘下げて下さい。
4. 穴掘り完了後、地中からドリルを引き上げ、エンジンを3秒前後回転させて、停止してください。

⚠ 警告

- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。
- ・近くにいる人から少なくとも5メートル離れて使用してください。特に子供、動物などを近づかせないようにご注意ください。
- ・視界が良くないときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- ・土中の石塊、レンガなど硬い物にぶつからないよう気を付けてください。けがする恐れがあります。
- ・無理な環境下で本機の使用を避けてください。平坦、かつ柔らかな畑でのご使用をお勧めします。
- ・本体を身体に近づける時は、安全を考慮して、できるだけドリルを避けて、ハンドルの方から近づけするようにしてください。
- ・作業休憩時、または別の場所へ移動するときは、エンジンを必ず止めてください。
- ・作業員以外の人には本機を操作しないでください。
- ・エンジンが始動中に、ドリルの切り刃を絶対に触れないでください。
- ・作業時に、作業服、作業ズボンがドリルに巻き込まれないようご注意ください。

⚠ 注意

- ・エンジンを止めてドリルの回転が止まった後に、地面に置いてください。
- ・長時間作業時、エンジンが過熱してストップしないよう、時々空転させてください。
- ・深掘時は時々ドリルを引き上げ、排土しながら徐々に掘り下げるようにしてください。

作業が終わりましたら、次の手入れを行い、保管してください

1. ネジの緩みがないか点検し、緩んでいるところがありましたら、締め直して下さい。
2. 燃料タンクの燃料を抜き取ります。
3. エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切して下さい。
4. スパークプラグの穴から少量の2サイクル専用オイルを入れ、リコイルスターターでゆっくり数回空転させ、リコイルスターターが重くなったところ(圧縮のあるところ)で止めてください。
5. エアクリナーなどを点検し、清掃、乾燥させてから取り付けてください。
6. 湿気の少ないところで、チリやほこりが付着しないように格納してください。
7. 子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。

 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下表を参考に点検・修理を行ってください。

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関する配線不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料ホースの詰まり、漏れ ③燃料タンクに異物混入による詰まり	燃料を入れる ホース清掃、交換 交換、
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり	キャブレター分解掃除

モデル	HQ-DZ50/HQ-DZ50S
エンジン	49cc2スト空冷
エンジンパワー	1.7kw
シャフト径	Φ20mm
推奨ドリルサイズ	Φ40mm～150mm
回転速度	170rpm
燃料	混合ガソリン(25:1)
本体重量	10kg
本体サイズ	500×290×350mm

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ 検索 TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html> ハイガー修理 検索

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

ハイガー 検索 <http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名:「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

ハイガー産業お問い合わせ 検索 TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00~13:00はお電話は繋がりにません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付しておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間:10:00~17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日:日曜、祝日、第2・4土曜日



※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

2018.10①